

令和8年度予算審査 委員会報告

令和8年第1回定例会では、令和8年度の各会計予算を2つの常任委員会に付託し、令和8年3月10日に審査を行いました。総務振興委員会・福祉文教委員会ともに提出された議案はすべて全員賛成で原案可決されました。

総務振興委員会 委員長 佐藤 猛

■ 審査議案

議案第10号 令和8年度坂祝町一般会計予算について
 議案第14号 令和8年度坂祝町水道事業会計予算について
 議案第15号 令和8年度坂祝町下水道事業会計予算について

■ 審査の総括

令和8年度一般会計の総額は42億9,100万円。財政調整基金を約4億9千万円取り崩す厳しい財政状況の中での予算編成となっている。歳入の確保と歳出の見直しを含めた持続可能な財政運営が強く求められる。

本委員会においては、限られた財源の中で、町民生活の安全・安心を確保しつつ、将来を見据えた施策が適切に計上されているかという観点から審査を行った。

今後においては、持続可能な財政運営と将来を見据えた町政運営が図られるよう期待するものである。

■ 審査にあたっての意見

【一般会計】

● 企画課

定住自立圏構想については、第4次共生ビジョンに基づき公共交通や医療・福祉など広域連携が進められている。今後も圏域のメリットを生かした効果的な施策展開を期待する。

公共交通（コミュニティバス・デマンドタクシー）の見直しにあたっては、増加する高齢者をはじめとした利用者の利便性を十分に踏まえ、持続可能で利用しやすい公共交通のあり方を検討されたい。

猿啄城展望台については、安全管理のための定期点検とともに、観光資源としての活用や情報発信を引き続き検討されたい。

タウンミーティングについては、テーマ設定や運営方法を十分に検討し、実効性のある形での実施を期待する。

多文化共生については、外国人住民の増加を見据え、地域や関係機関と連携しながら共生社会の形成に取り組まれたい。

● 総務課

交通安全対策は、高齢化の進展を踏まえ関係機関と連携した取り組みを継続されたい。

避難所設置の移動式クーラーについては、平常時の適切な管理・運用方法も検討し、有効活用に努められたい。

職員研修は、民間のノウハウも参考にしながらより実践的な内容の充実に努められたい。

● 水道環境課

プラスチック製品の資源物収集開始にあたり、住民への分かりやすい周知徹底を図り、円滑な導入と定着に努められたい。

【水道・下水道事業会計】

施設・管路の老朽化が今後の課題。更新計画と財政負担を考慮した計画的・効率的な事業運営に努められたい。

福祉文教委員会 委員長 兼松 雄司

■ 審査議案

議案第10号 令和8年度坂祝町一般会計予算について
 議案第11号 令和8年度坂祝町国民健康保険特別会計予算について
 議案第12号 令和8年度坂祝町後期高齢者医療特別会計予算について
 議案第13号 令和8年度坂祝町介護保険特別会計予算について

■ 審査の総括

令和8年度一般会計の総額は42億9,100万円で前年度比1.8%の減額予算である。

国民健康保険特別会計の総額は、9億2,000万円で4.5%の増額、後期高齢者医療特別会計の総額は、1億6,770万円で20.7%の増額、介護保険特別会計の総額は、7億6,800万円で8.6%の増額となった。

■ 審査にあたっての意見

【一般会計】

● 窓口税務課

マイナンバーカードの利用率は依然低い状況。カードおよび電子証明書の更新時の住民接点を活用し、利用促進に努められたい。

● 福祉課

デマンドタクシーの利用実態を踏まえつつ、「ほぎもんバス」の機能強化に合わせ、2つの交通手段が一体となって機能する抜本的な最適化を検討されたい。

● 教育課

教育環境の整備と学校施設の計画的な維持・更新に努められたい。老朽化や機能不足が見られる施設は優先順位を明確にし、段階的な改善を図られたい。

● こども課

学童保育での職員増員は評価。引き続き児童数の推移や現場の負担状況を踏まえた適正な職員配置に努められたい。

【国民健康保険特別会計】

特定健康診査については県補助金を活用したデータ分析や未受診者への勧奨強化が図られているが、効果的な受診勧奨を継続して進められたい。

滞納繰越分は前年比増加。資格確認の適切な活用を含め、滞納整理・滞納処分の強化を着実に進められたい。

【介護保険特別会計】

高齢化の進展に伴い、介護予防事業に加え地域資源の活用や関係機関との連携強化により、将来的な給付費の抑制と住民の自立支援につながる取り組みを推進されたい。